

2022年第45週(11月7日～11月13日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

# 名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2022年(令和4年)11月16日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

## ◆新型コロナウイルス感染症の発生状況

- 令和4年11月15日現在までに、名古屋市内では493,887人の新型コロナウイルス陽性者(再陽性患者件数を含む)が確認され、市内における新型コロナウイルスに関連した死亡者は1,139人となっています。2022年第45週の一週間当たりの新規陽性者数は8,807人で前週の7,206人との比較では1.22倍(第45週/第44週)となりました。

## ◆新型コロナウイルス感染症に関する相談等

新型コロナウイルス感染症に関する相談や発生状況、ワクチン接種等の詳細な情報については下記のリンク等をご覧ください。

- 「コロナかも」発熱等で相談・受診したいときは(名古屋市)  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000133973.html>  
発熱等の症状がある場合には、まずは、かかりつけ医等の地域の医療機関に電話等でご相談ください。事前に相談なく、直接受診することは避けてください。かかりつけ医をもたないなど、相談先に迷う場合は、「受診・相談センター」にご相談ください。
- 新型コロナに感染した場合(検査結果で陽性となった場合)(名古屋市)  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000149605.html>  
感染症法施行規則の改正により、令和4年9月26日以降に医療機関を受診されて新型コロナウイルス感染症と診断された方は、医師から保健センターへの発生届の「届出対象」もしくは「届出対象外」に分かれました。
- 名古屋市陽性者登録センター(名古屋市)  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000155366.html>  
症状が無症状もしくは軽症の方について迅速な陽性判定ができるよう「名古屋市陽性者登録センター」が設置されています。
- 新型コロナ患者(発生届の届出対象外の方もしくは陽性者登録センターで陽性者登録した方)へのご案内(名古屋市)  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000156550.html>  
発生届の「届出対象外」および「名古屋市陽性者登録センターへ陽性者登録した」方向けのページです。

- 新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)
- 新型コロナウイルス感染症について（名古屋市）  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>
- 市内の新型コロナウイルス発生状況（名古屋市）  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>
- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト（愛知県）  
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>
- 新型コロナウイルスワクチンポータルサイト（名古屋市）  
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000144989.html>

## 〔「嚴重警戒」での感染防止対策〕

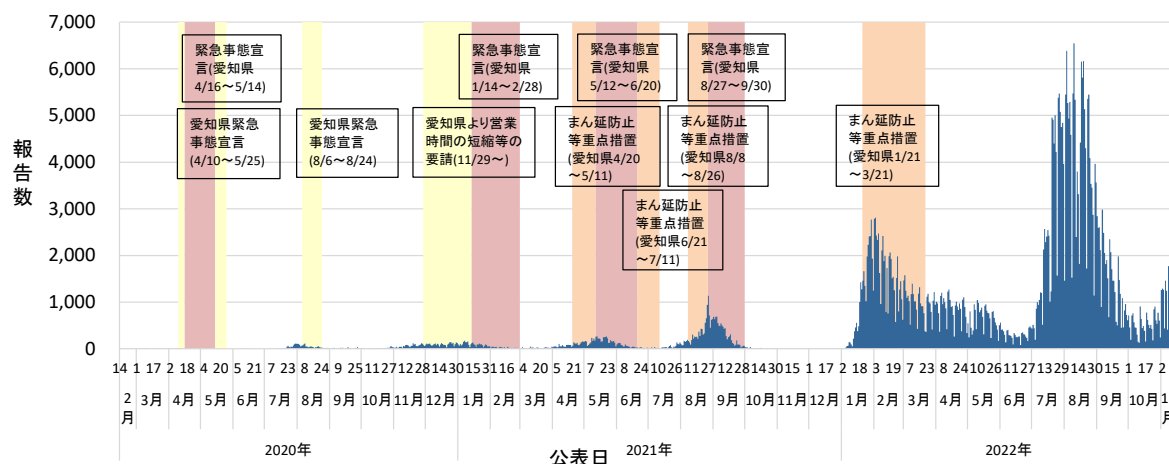
- 愛知県では第8波の感染拡大の抑制に向け「嚴重警戒」での感染防止対策が実施されています。最新の情報については下記のリンクをご覧ください。
  - 基本的対処方針に基づく対応（内閣官房）  
<https://corona.go.jp/emergency/>
  - 県民・事業者の皆様へのメッセージ（愛知県）  
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/covid19-aichi.html>

「嚴重警戒」での感染防止対策 ①		「嚴重警戒」での感染防止対策 ②		
県民	①外出の注意点	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて	⑨職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知
	②県をまたぐ移動の注意点	基本的な感染防止対策を徹底	⑩事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、未策定の場合は早急に策定
	③高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮	⑪イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント   収容定員まで その他のイベント   5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
	④基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない	⑫行事等での対策	人と人の距離の確保、大声での会話自粛
事業者	⑤飲食店等に対する協力要請	入場者の感染防止のための整理・誘導 手指の消毒設備の設置 入場者に対するマスク着用等の周知等	⑬学校等での対応	感染リスクが高い学習活動の実施は慎重に再開を検討、部活動は感染防止対策を徹底
	⑥業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検	⑭保育所、認定こども園、幼稚園等での対応	感染リスクが高い活動は回避 【2歳未満児】マスク着用は求めない 【2歳以上児】マスク着用は一律には求めない
	⑦生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続	⑮高齢者施設等での対応	「介護現場における感染対策の手引き」に基づく対応を徹底
	⑧テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進	⑯医療機関等の負担軽減に向けた対応	救急外来・救急車の利用は真に必要な場合のみ
		県	〇ワクチン接種の機会の提供	〇あいスタ認証店の普及

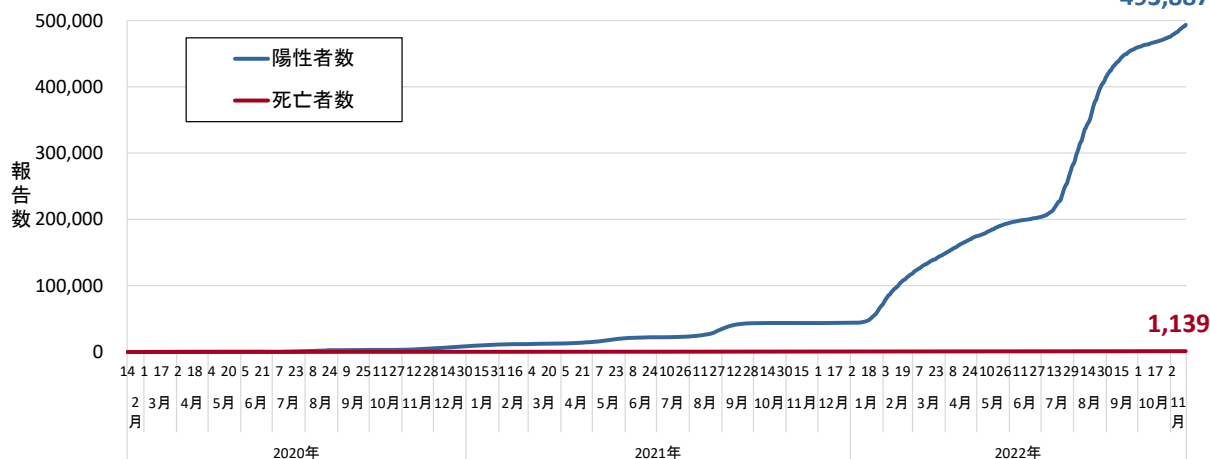
（出典：愛知県「嚴重警戒」での感染防止対策より）

## 〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数①（令和4年11月15日現在）〕

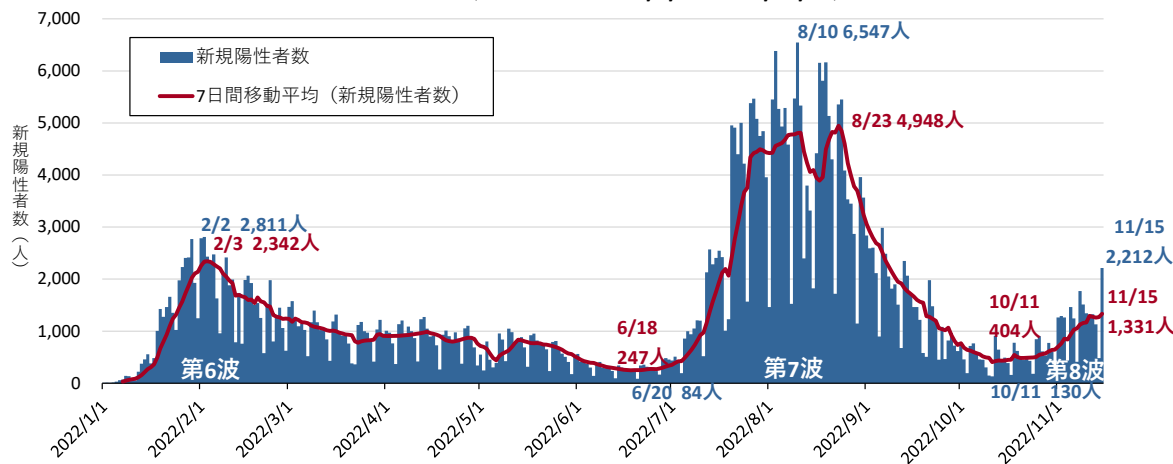
新型コロナウイルス陽性者数の推移(名古屋市:2020/2/14~2022/11/15 493,887人)



陽性者数、死亡者数の累計(名古屋市:2022年11月15日現在)



新規陽性者数(名古屋市:2022/1/1~2022/11/15)



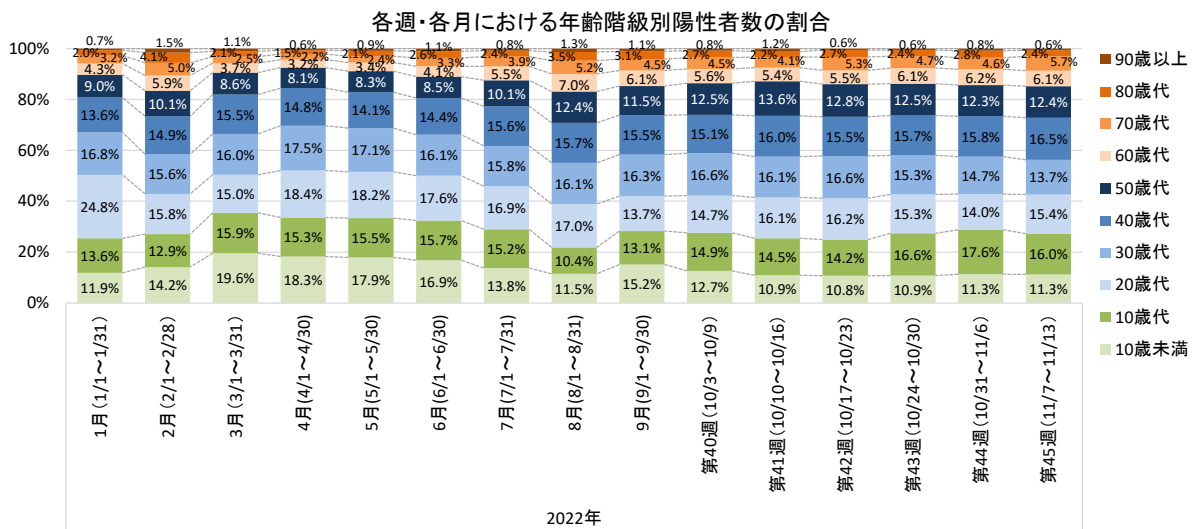
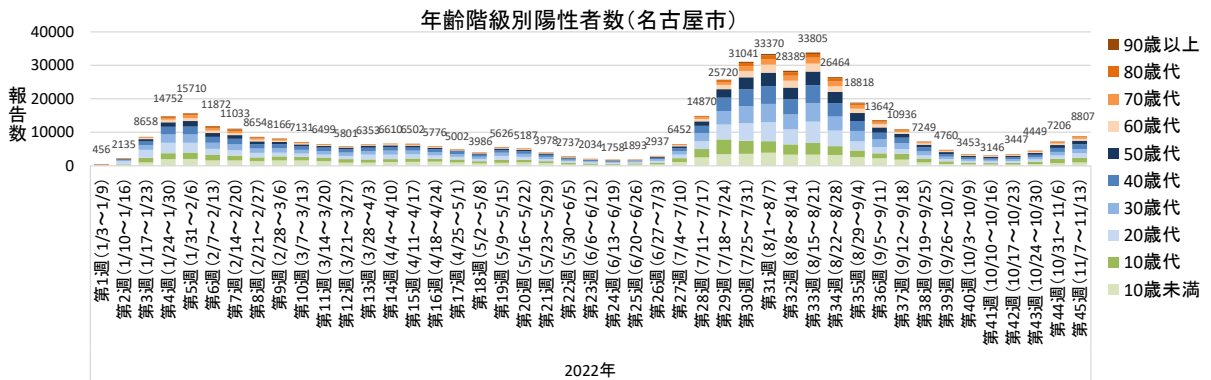
## 〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数②（令和4年11月15日現在）〕

掲載データは本市記者発表資料から当所にて集計したものです。報告数は公表日の陽性者数を集計。なお、その後の訂正などにより変更される場合があります。

なお、2022年第38週までの新型コロナウイルス感染症の重症度別報告数等については下記のリンクに掲載していますのでご覧ください。

- ・名古屋市感染症発生動向調査情報（週報・月報）

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000101900.html>

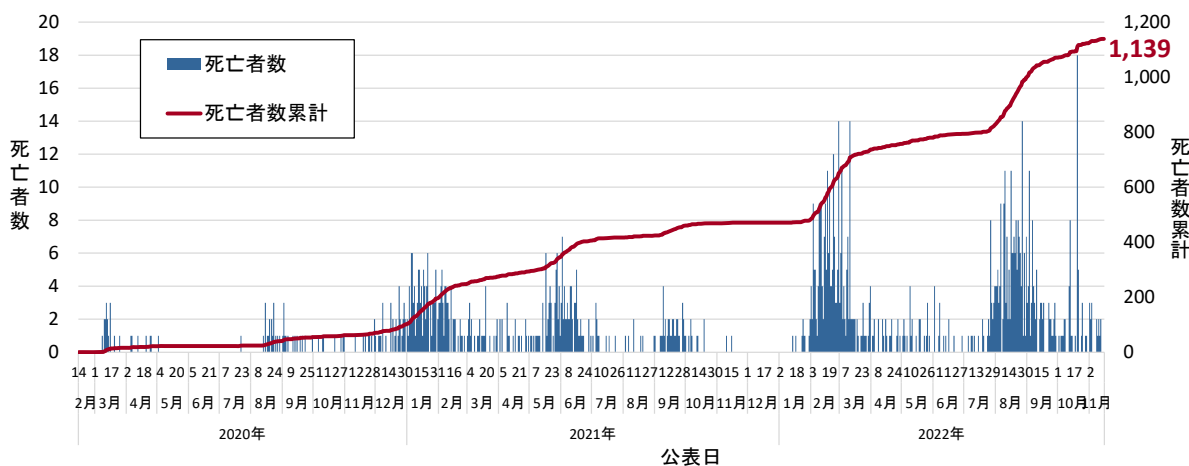


各週・各月の年階級別陽性者数

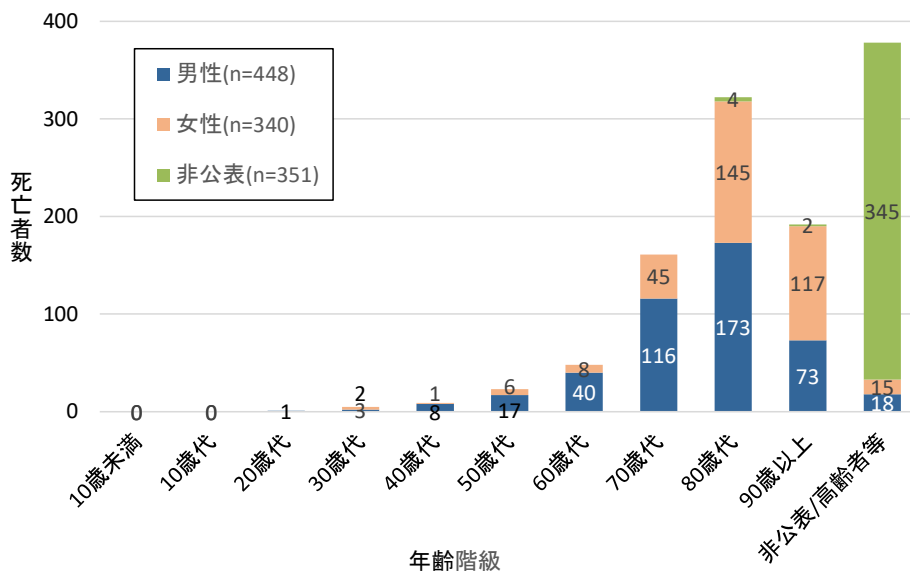
2022年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第40週	第41週	第42週	第43週	第44週	第45週
90歳以上	188	715	336	169	179	98	637	1278	490	28	38	21	27	58	56
80歳代	542	1908	650	381	430	241	1887	4540	1393	94	68	92	105	201	209
70歳代	883	2313	768	582	489	303	3073	6741	2045	154	129	181	209	329	503
60歳代	1181	2772	1142	825	680	379	4333	9013	2779	194	171	188	271	447	540
50歳代	2448	4702	2630	2108	1652	787	8065	16166	5229	430	427	440	558	883	1088
40歳代	3715	6943	4730	3863	2817	1341	12429	20509	7061	521	502	535	699	1142	1451
30歳代	4583	7273	4887	4574	3429	1493	12566	21087	7421	573	505	571	680	1059	1207
20歳代	6769	7389	4591	4813	3645	1634	13429	22254	6245	507	505	557	680	1008	1354
10歳代	3704	6019	4849	3998	3095	1456	12090	13648	5977	515	457	491	737	1265	1405
10歳未満	3254	6608	6000	4775	3585	1567	10957	14971	6919	437	344	371	483	814	994
調査中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27268	46642	30583	26088	20001	9299	79466	130697	45559	3453	3146	3447	4449	7206	8807

〔名古屋市における新型コロナウイルスに関連した死亡者（令和4年11月15日現在）〕  
 令和4年11月15日現在、新型コロナウイルスに関連した死亡者は名古屋市内1,139人となっています。

新型コロナウイルス死亡者数(名古屋市 1,139人)



性別・年齢階級別死亡者数(名古屋市)



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	総計
2020年	—	0	16	6	1	0	1	17	14	7	8	31	101	1139
死亡者数(人)	—	24	98	149	6	12	770	1459	439	462	1899	3035	8353	
新規陽性者数(人)	—	716	629	2449	5533	1498	1253	10880	9150	410	60	63	35552	
2021年	96	51	27	19	52	60	11	7	36	9	2	0	370	
死亡者数(人)	2911	46642	30583	26088	20001	9299	79466	130697	45559	15914	18465		449982	
2022年	10	170	86	20	23	14	32	173	72	52	16		668	
死亡者数(人)	27268	46642	30583	26088	20001	9299	79466	130697	45559	15914	18465		449982	
新規陽性者数(人)														

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 特記することなし。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2022年第45週	2類	結核	8	男性、51歳、結核性胸膜炎および結核性椎体炎 女性、88歳、肺結核 女性、82歳、肺結核 男性、80歳、肺結核 男性、89歳、肺結核および気管支結核 男性、82歳、肺結核および結核性胸膜炎 男性、60歳、無症状病原体保有者 女性、85歳、無症状病原体保有者
2022年第45週	新型インフルエンザ等	新型コロナウイルス感染症	8879	下に別記載
2022年第45週	3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	女性、27歳、感染地域：不明、血清型・毒性型：O157ベロ毒素 VT1VT2
2022年第45週	4類	レジオネラ症	1	女性、86歳、肺炎型、感染地域：名古屋市
2022年第45週	5類	アメーバ赤痢	1	男性、58歳、腸管及び腸管外アメーバ症、感染原因：不明、感染地域：国内
2022年第45週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	女性、46歳、菌検出検体：その他(開放膿)、菌種： <i>Citrobacter braakii</i> 、感染原因：不明 女性、78歳、菌検出検体：尿、血液、菌種： <i>Enterobacter aerogenes</i> 、感染原因：不明
2022年第45週	5類	梅毒	5	女性、32歳、早期顕症梅毒1期 男性、48歳、早期顕症梅毒1期 男性、22歳、早期顕症梅毒2期 女性、23歳、早期顕症梅毒2期 女性、24歳、早期顕症梅毒2期

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

## 〔新型コロナウイルス感染症〕（新型インフルエンザ等感染症）

	0 歳	1 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90 歳 以 上	合計
市内医療機関報告数 <sup>※1</sup>	70	308	611	1340	1259	1126	1379	1037	340	189	500	209	59	8427
陽性者登録センター登録数 <sup>※2</sup>	0	4	13	59	110	103	83	64	16	0	0	0	0	452
合計	70	312	624	1399	1369	1229	1462	1101	356	189	500	209	59	8879

※1 市内医療機関報告数：市内医療機関から報告を受けた新型コロナウイルス感染症患者の総数

【発生届対象の患者(4 類型)及び対象外の患者】(市内医療機関を受診した名古屋市外の患者も含む)

※2 陽性者登録センター登録数：医療機関を受診せず、自己検査等にて陽性になった患者の総数

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2022 年 第 44 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	女性、96 歳、菌検出検体：血液、菌種： <i>Enterobacter cloacae</i> 、感染原因：その他(胆管炎)
2022 年 第 44 週	5 類	梅毒	4	男性、43 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、44 歳、早期顕症梅毒 2 期 女性、22 歳、早期顕症梅毒 2 期 女性、20 歳、早期顕症梅毒 2 期
2022 年 第 43 週	2 類	結核	1	男性、77 歳、無症状病原体保有者
2022 年 第 43 週	5 類	梅毒	1	男性、45 歳、早期顕症梅毒 1 期
2022 年 第 42 週	5 類	梅毒	1	男性、35 歳、早期顕症梅毒 1 期

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔2022年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	364 (110)
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。） ※令和3年2月13日から	447748
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	0
4類感染症	デング熱	2
4類感染症	A型肝炎	1
4類感染症	E型肝炎	1
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1
4類感染症	類鼻疽	1
4類感染症	マラリア	3
4類感染症	レジオネラ症	44
5類感染症	アメーバ赤痢	10
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	48
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	3
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22【1】



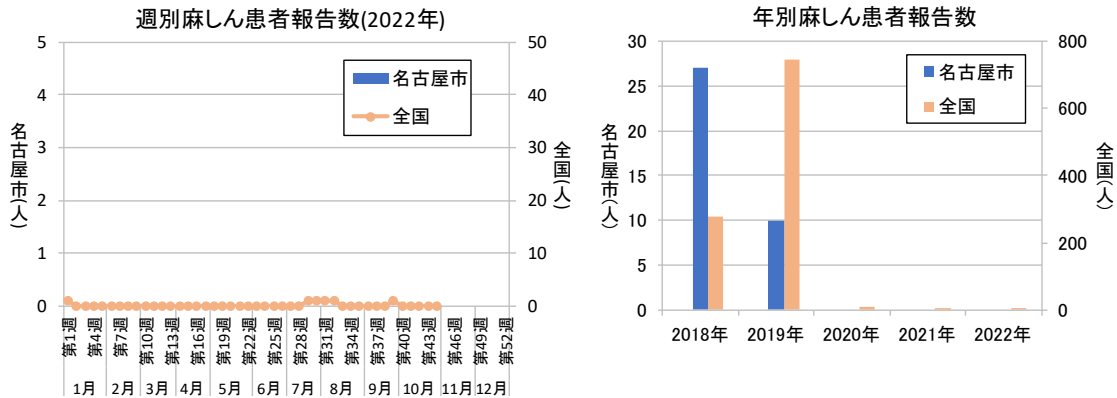
# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

5 類感染症	後天性免疫不全症候群	46 (30)
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	28
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	3
5 類感染症	梅毒	340 (85)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	3
5 類感染症	破傷風	1
5 類感染症	百日咳	2
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	3

累計は 2022 年第 1 週からの診断週による累計、( ) 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[ ] 内は疑似症累計数を再掲、  
【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候  
群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

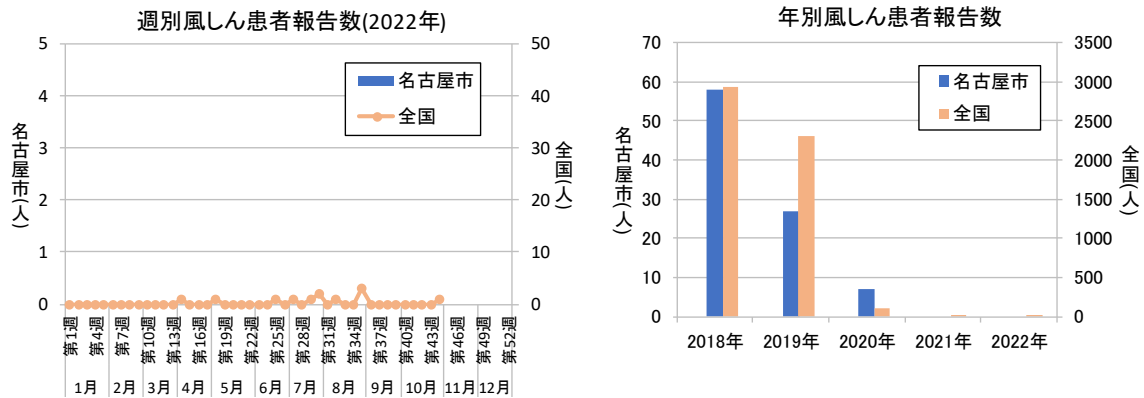
〔名古屋市の麻疹報告数：2022年11月16日作成〕



麻疹	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
名古屋市	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0	0	0※1
愛知県	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2	1	0※2
全国	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744	10	6※3	6※2

※1 第45週(11月13日)まで ※2 第44週(11月6日)まで ※3 報告数は速報値  
(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2022年11月16日作成〕



風しん	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
名古屋市	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7	0	0※1
愛知県	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	8	0	0※2
全国	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2941	2298	101	12※3	12※2

※1 第45週(11月13日)まで ※2 第44週(11月6日)まで ※3 報告数は速報値  
(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

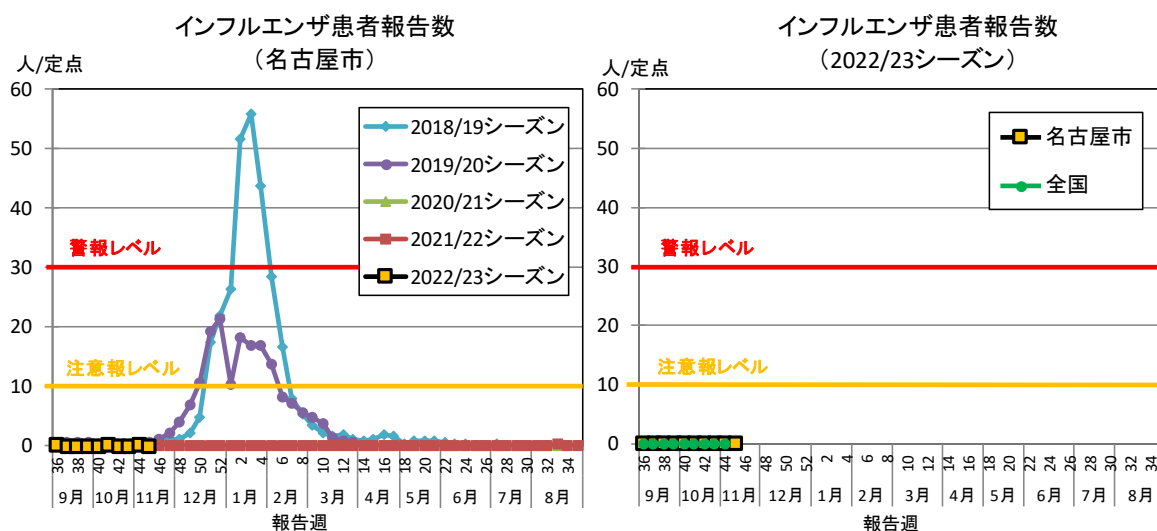
定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

陽性者なし	定点医療機関（西区）
-------	------------

## 〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における第45週（11月7日～11月13日）の市内70定点からのインフルエンザ患者報告数は0人で、定点当たり患者報告数は0人でした。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、咳、鼻水等の上気道炎症状が現れます。1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは、重症化することがあるので、特に注意が必要です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2022年11月16日作成〕



定点当たり患者報告数(2022/23シーズン:8週分)

	第38週 (9/19～ 9/25)	第39週 (9/26～ 10/2)	第40週 (10/3～ 10/9)	第41週 (10/10～ 10/16)	第42週 (10/17～ 10/23)	第43週 (10/24～ 10/30)	第44週 (10/31～ 11/6)	第45週 (11/7～ 11/13)
名古屋市	0.00	0.03	0.00	0.06	0.03	0.00	0.06	0.00
愛知県	0.01	0.02	0.00	0.03	0.02	0.01	0.08	-
全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.06	-
名古屋市 (昨シーズン)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警戒の基準  
※報告数は各週公表時における速報値

## 各区の患者報告数(第45週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの患者報告数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点当たり患者報告数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00

インフルエンザ



## 注意報警報レベルについて

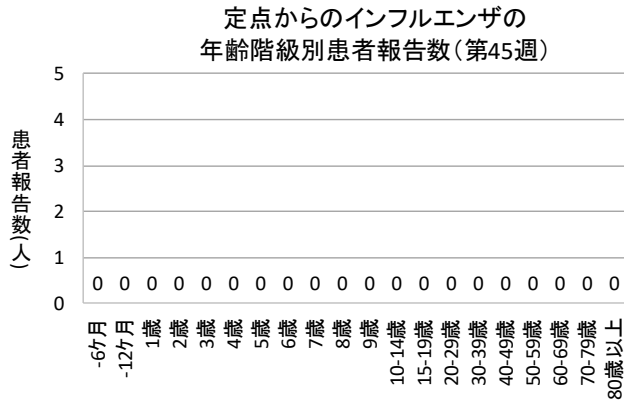
患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	黄
警報レベル	赤

注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値
10	30	10

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合  
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

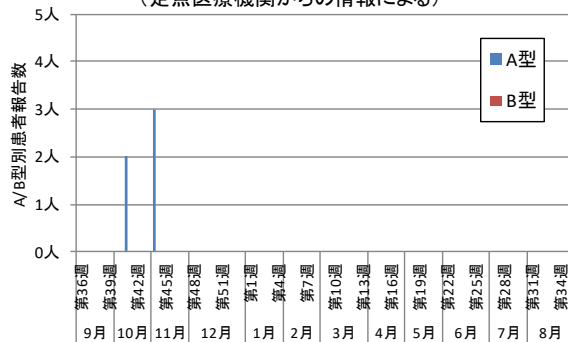
## 年齢階級別患者報告数



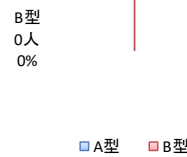
## インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2022/23シーズンは、インフルエンザA型5人、インフルエンザB型0人がこれまでに報告されています。

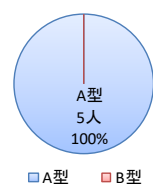
インフルエンザA/B型別患者報告数(2022/23シーズン)  
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(第45週)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2022/23シーズン累計)



## ◆2022年第45週 患者報告数（疾病別）、定点あたり患者報告数（疾病別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

### 患者報告数（名古屋市）

2022年第45週（2022年11月7日～11月13日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ																	0	0.0	0.0
○RSウイルス感染症	2																2	0.3	0.1
○咽頭結膜熱				2							5						7	1.8	0.7
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2			3													5	0.5	0.2
○感染性胃腸炎	12	1	3	5	11	19	4			7	4	2	4	9	7	4	92	1.1	0.9
○水痘				3							1						4	1.0	0.5
○手足口病	2	2		1	1	4				1		1	1		1		14	1.0	0.7
○伝染性紅斑																	0		0.0
○突発性発疹	1	1		1		2							1				6	0.8	0.5
○ヘルパンギーナ						1											1	0.3	0.1
○流行性耳下腺炎				1		1							1				3	0.8	1.8
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		0.0
◇マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
計	19	4	3	16	12	27	4	0	0	8	10	3	7	9	8	4	134		

\*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

### 定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2022年第45週（2022年11月7日～11月13日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ																	
RSウイルス感染症	0.4																0.0
咽頭結膜熱				0.5								1.3					0.1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.4			0.8													0.1
感染性胃腸炎	2.4	0.3	0.6	1.3	2.2	4.8	0.8				1.8	1.0	0.5	0.8	2.3	1.8	1.3
水痘				0.8								0.3					0.1
手足口病	0.4	0.5		0.3	0.2	1.0					0.3		0.3	0.2		0.3	0.2
伝染性紅斑																	
突発性発疹	0.2	0.3		0.3		0.5									0.2		0.1
ヘルパンギーナ						0.3											0.0
流行性耳下腺炎				0.3		0.3									0.2		0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

#### 流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

## 年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2022年第45週(2022年11月7日～11月13日)

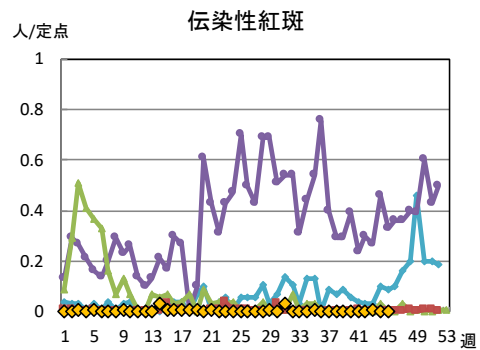
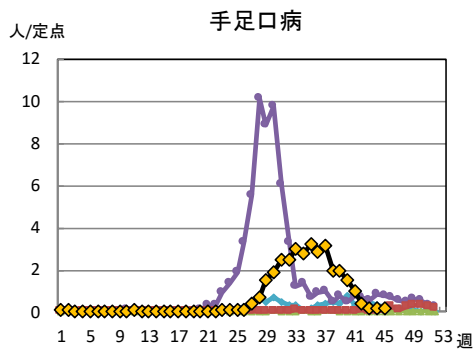
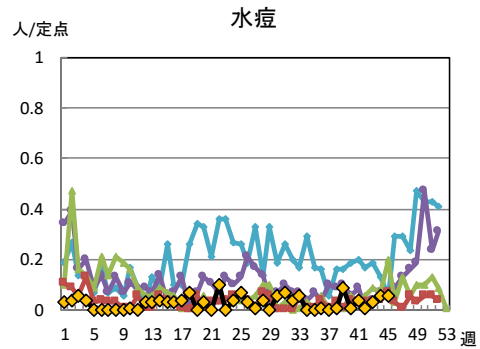
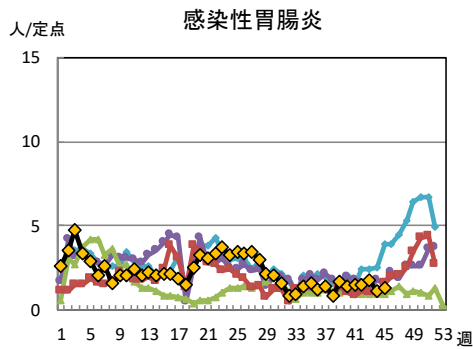
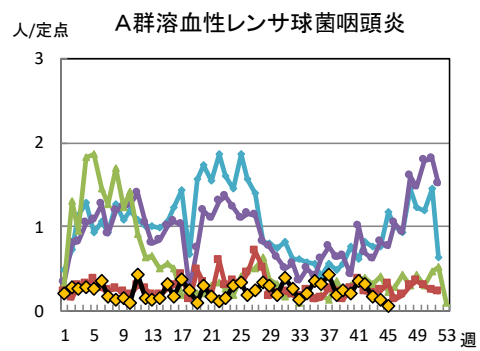
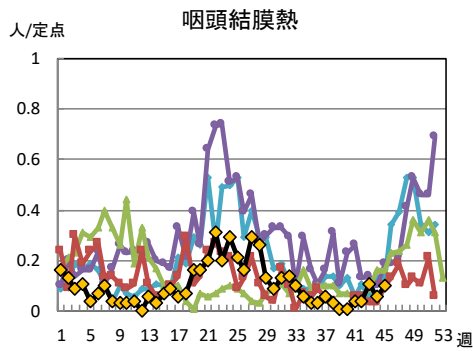
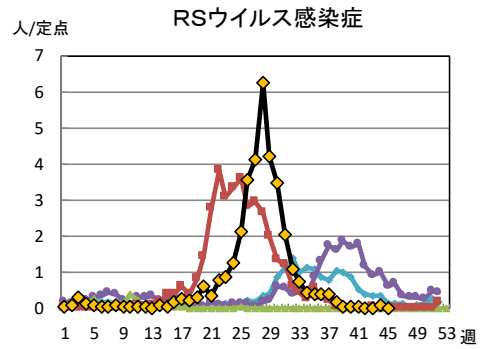
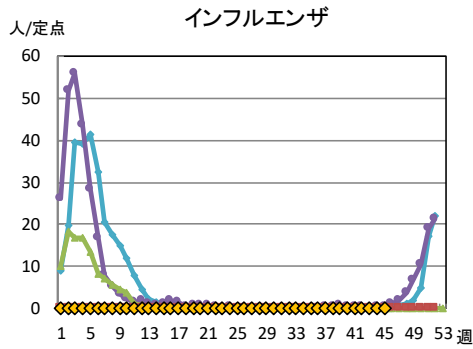
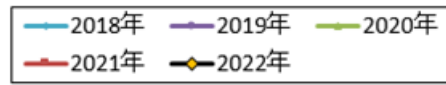
疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ																				

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	2													
咽頭結膜熱	1			1						1		1	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1		2	1	1							
感染性胃腸炎	1	2	16	5	9	6	8	5	9	3	4	7		17
水痘			3					1						
手足口病		2	6	5	1									
伝染性紅斑														
突発性発しん		1	3	1			1							
ヘルパンギーナ			1											
流行性耳下腺炎					1	1						1		

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎																			

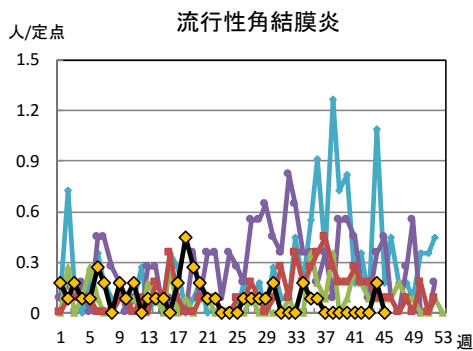
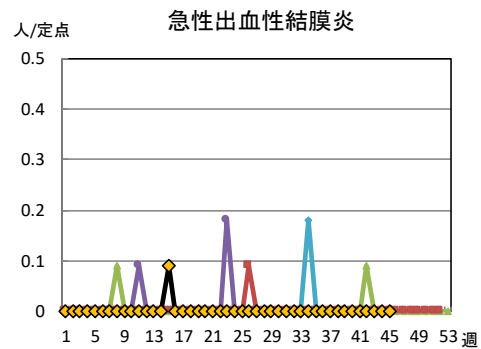
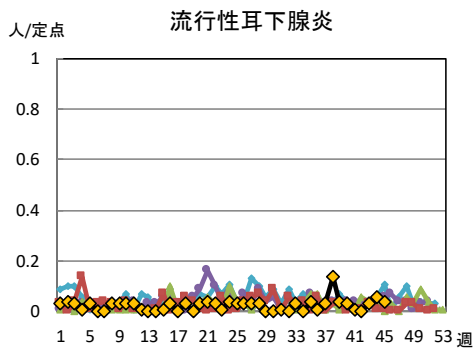
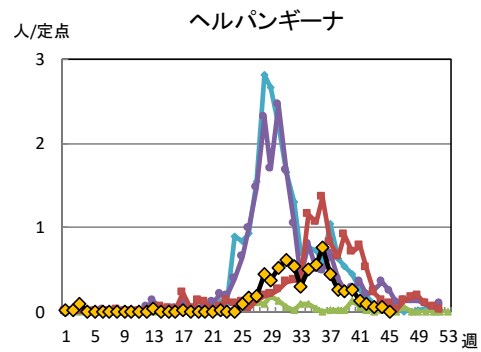
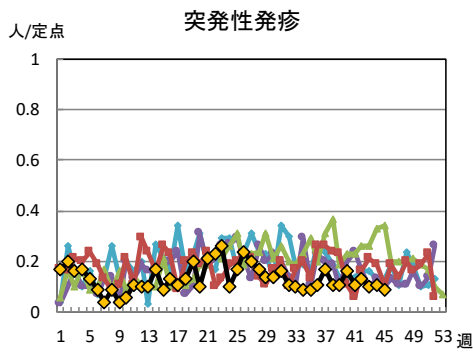
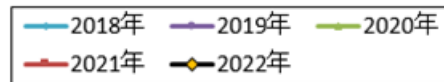
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2022年第45週まで





◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2022年第45週まで



## ◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2022年10月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1. 基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2022年10月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				0
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	0	0	0

表2. 基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2022年10月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症											0
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## ◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2022年10月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性203人、女性は45人でした。（表2、図1参照）

2022年10月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から44歳および50歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳以上の全ての年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から44歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から29歳、35歳から39歳および45歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳および40歳から44歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から29歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2022年10月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	3		24	2	7	49	8	1		10	6			6	1	4	121
性器ヘルペスウイルス感染症			5	1		10	3	1			2			1		2	25
尖圭コンジローマ			5		1	8	3	1		5						2	25
淋菌感染症	2		16		7	22	6			16				6		2	77
計	5		50	3	15	89	20	3		31	8			13	1	10	248

STD定点数

1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	1	15
---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2022年10月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		4	23	21	15	8	6	6	4	5	92
	女性		4	10	9	2	2	2				29
性器ヘルペスウイルス感染症	男性			1	2	2	2	4		1	4	16
	女性			1	2		1		1	2	9	9
尖圭コンジローマ	男性			1	2	2	4	1	4	3	3	20
	女性			4				1			5	5
淋菌感染症	男性		3	19	11	6	12	5	4	6	9	75
	女性			1	1						2	2
計	男性		7	44	36	25	26	16	14	14	21	203
	女性		4	16	12	2	3	3	1	2	2	45

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2022年10月)

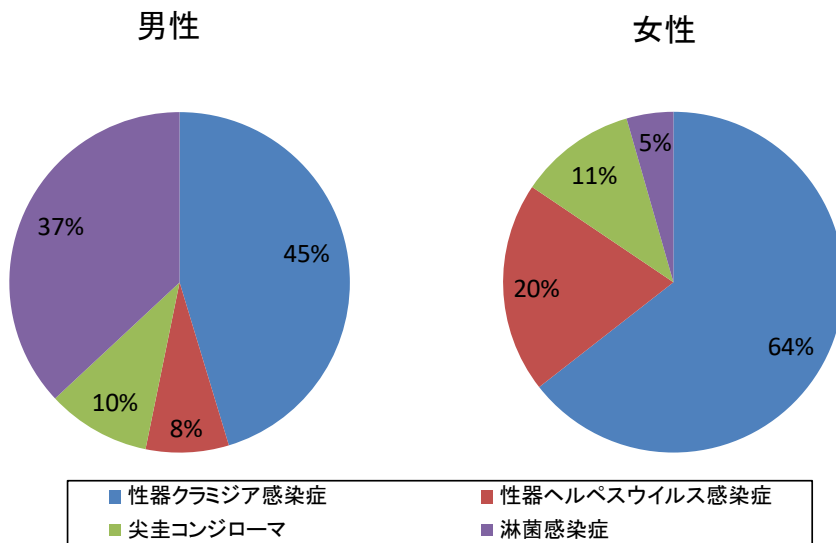


図2. 各STDの性別・年齢階級の定点あたり報告数(2022年10月)

